



## システム アップグレードの準備

---

この章では、実際のアップグレードプロセスを実行する前に注意する必要がある情報を示します。たとえば、さまざまなコンポーネントの一般的なアップグレード方法、アップグレードに関連するコンポーネントのアップグレードリリースバージョン、およびリリースバージョンの互換性について説明します。

この章には、次の項があります。

- システム アップグレードのアプローチ
- システム アップグレードの依存関係
- アップグレードリリースバージョン



(注)

---

IPT コンポーネントの名前の多くは、Cisco Unified Communications System のリリースの一部として変更されています。このマニュアルでは、以前のリリースの製品を指す場合でも、最新の製品名を使用しています。

---

## システムアップグレードのアプローチ

一般的な方法としては、各 Cisco Unified Communications Manager クラスタ（およびそれに関連付けられているすべての IPT コンポーネント）を一度に1つアップグレードしてから、次のクラスタをアップグレードします。

クラスタごとに、次の順序で Cisco Unified Communications System ソリューションのコンポーネントをアップグレードします。

1. インフラストラクチャ コンポーネント。たとえば、Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネントなど。これらのコンポーネントを最初にアップグレードして、Cisco Unified Communications System のコンポーネントが必要とするサービスをインフラストラクチャがサポートできるようにする必要があります。
2. コール処理コンポーネント。たとえば、Cisco Unified Communications Manager Express や Unified Communications Manager のクラスタなど。
3. PSTN ゲートウェイ。
4. シスコ ゲートキーパー（マルチサイト分散展開モデル用）。
5. Cisco Unity コンポーネントなどのアプリケーション サーバ（セキュリティ アプリケーションは含まれていません）。
6. Cisco Unified Video Advantage などのアプリケーションクライアント。

コンポーネントのアップグレード順序の詳細については、[第6章「システムアップグレードの実行」](#)を参照してください。

IPT コンポーネントのアップグレードシーケンスは、次の点を考慮して決定する必要があります。

- これらのコンポーネントが提供するサービスの重要性。たとえば、基本的な電話サービスは、補足サービスやボイスメッセージサービスよりも重要であると見なされます。
- これらのコンポーネントのソフトウェア リリースの下位互換性。

「[アップグレード リリース バージョン](#)」の項では、各コンポーネントを Unified Communications Manager のアップグレードの前後どちらにアップグレードする必要があるか、またはそのようなアップグレード順序が重要でないかについて、ベース リリース セットごとに説明します。

## システムアップグレードの依存関係

各リリースセット内のコンポーネントは、互いに互換性があり、正常に相互運用できます。たとえば、特定のベース リリースセット内のコンポーネントは互いに互換性があるが相互運用でき、ターゲットリリースセット内のコンポーネントは互いに互換性があるが相互運用できません。

マルチステージシステムアップグレードおよびマルチサイト移行アップグレードでは、各段階（メンテナンス期間）でリリースセット内の一部のコンポーネントだけをアップグレードします。そのため、これらのアップグレードでは特に、下位の互換性や非互換性の影響も考慮に入れて操作の順序を決める必要があります。下位互換性の詳細については、この項の後半で説明します。

統合システムの個々のコンポーネントをアップグレードする場合、一部のコンポーネントを次のリリース レベルにアップグレードした後、それらのコンポーネントを以前のリリース レベルのままのコンポーネントと相互運用できないと、システム全体がサービス低下状態で動作する可能性があります。

先にアップグレードするコンポーネントは、以前のリリース レベルのままである他のコンポーネントと相互運用できる必要があります。たとえば、Unified Communications Manager はゲートウェイの前にアップグレードします。そのため、Unified Communications Manager は、次のリリース レベルになっても、アップグレードされておらず以前のリリース レベルのままのゲートウェイと相互運用できる必要があります。互換性の詳細については、「[アップグレード リリース バージョン](#)」の項を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager のアップグレードと互換性に関する考慮事項

Cisco Communications Manager は、アップグレードシーケンスの初期にアップグレードされるため、Cisco Unified Communications ソフトウェア リリース バージョンを実行する他のコンポーネントとの互換性を持っている必要があります。

### Cisco Unified Communications Manager Release 4.x から Cisco Unified Communications Manager へのアップグレード Release 6.0(1)

IPC Systems Test Release 4.2 から Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) にアップグレードする場合は、Cisco Unified Communications Manager に関する次の制限事項に注意してください。

- サーバを Cisco IP Telephony Operating System からアップグレードする場合は、すべてのシステムを Win2000.4.4a および最新のサービス リリースにアップグレードします。



**(注)** この推奨事項を挙げた理由は、アップグレードプロセスで問題が発生した場合に、Windows ベースの Cisco Unified Communications Manager 4.x バージョンにロールバックするためにかかる時間がかかることがあるからです。

- シスコシステムズによって認定されているソフトウェアに限り、システム インストーラでアップロードして処理できます。以前の Unified Communications Manager 4.x バージョンで使用していたサードパーティまたは Windows ベースのソフトウェア アプリケーションを、現在の Unified Communications Manager 6.0(1) リリース バージョンでインストールしたり使用したりすることはできません。
- アップグレードを実行する前に、Backup and Restore System (BARS) を使用して、Unified Communications Manager および Call Data Record (CDR; コールデータ レコード) のデータベースを外部ネットワーク ディレクトリにバックアップすることをお勧めします。この方法により、アップグレードが失敗した場合のデータ損失を防止できます。

- Unified Communications Manager のクラスタが 1:1 の冗長モデルで構成されている場合は、アップグレード中のダウンタイムを最小限に抑えることができます。これを行うには、プライマリサブスクリバとバックアップサブスクリバの間でデバイス登録の負荷を分散させます。この方法により、いずれかのサブスクリバサーバで障害が発生したり、メンテナンスのための停止が行われたりした場合、半分のデバイスだけが残りのサブスクリバにフェールオーバーする必要がありますが、すべてのデバイスが引き続き動作できることが保証されます。
- CRS 4.0(4)SR1 は Unified Communications Manager 6.0(1) をサポートしておらず、CRS 5.0 は Unified Communications Manager 4.2(3) をサポートしていません。長期間にわたるサービス停止を避けるには、Unified Communications Manager とそのコンポーネントをアップグレードした後、同じメンテナンス期間中に Cisco CRS システムのフレッシュインストールを実行する必要があります。
- Unified MobilityManager 機能は Unified Communications Manager 6.0(1) のネイティブ機能として移植されており、スタンドアロン Unified MobilityManager は Unified Communications Manager 6.0(1) でサポートされていません。Unified MobilityManager のデータを Unified Communications Manager 6.0(1) Integrated Mobility に移行するには、スタンドアロン Unified MobilityManager をリリース 1.2(5) にアップグレードします。その後、Export メニューから Feature Data オプションを使用してデータをエクスポートします。エクスポートしたデータは、Unified Communications Manager 6.0(1) へのアップグレード後、BAT を使用して Unified Communications Manager 6.0(1) にインポートできます。
- Cisco IP Communicator 2.1(x) では、次の機能がサポートされています。
  - SIP 機能
  - Unified IP Phone 8.0(4) 電話機能
- Cisco Unified MeetingPlace Video Integration は、次の両方をサポートしています。
  - Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540 4.x バージョン。これは、単一の会議で複数の EMP を使用できるようにするカスケードリング MCU (仮想) 機能を提供しません。
  - Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545 5.x バージョン。これは、仮想 MCU 機能を提供します。

仮想 MCU 機能が不要な場合は、ハードウェアおよびソフトウェアを Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545 5.x バージョンにアップグレードする必要はありません。



**(注)** サポートされている MCU ハードウェア プラットフォームおよびバージョンについては、[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod\\_system\\_requirements\\_hardware\\_09186a00806ec9bd.html#wp38235](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_system_requirements_hardware_09186a00806ec9bd.html#wp38235) を参照してください。

- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のソフトウェアが、Unified Communications Manager に付属のバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。

## Cisco Unified Communications Manager 5.x から Cisco Unified Communications Manager へのアップグレード Release 6.0(1)

Cisco Unified Communications System Release 5.0(2) または Release 5.1(1) から Release 6.0(1) にアップグレードする場合は、Cisco Unified Communications Manager に関する次の制限事項に注意してください。

- Unified Communications Manager では、ソフトウェアのインストールおよびアップグレードはすべて、Software Upgrade メニュー オプションを使用して実行する必要があります。シスコシステムズによって認定されているソフトウェアに限り、システム インストーラでアップロードして処理できます。

- アップグレードを実行する前に、Disaster Recovery Framework を使用して、Unified Communications Manager および CDR Analysis and Reporting (CAR) のデータベースを外部ネットワーク ディレクトリにバックアップすることをお勧めします。この方法により、アップグレードが失敗した場合のデータ損失を防止できます。
- Unified Communications Manager のクラスタが 1:1 の冗長モデルで構成されている場合は、アップグレード中のダウンタイムを最小限に抑えることができます。これを行うには、最初のノード (プライマリ) と後続のバックアップ ノード (サブスクリバ) の間でデバイス登録の負荷を分散させます。この方法により、いずれかの後続ノードサーバで障害が発生したり、メンテナンスのための停止が行われたりした場合、半分のデバイスだけが残りの後続ノードにフェールオーバーしますが、すべてのデバイスが引き続き動作できます。
- CRS 5.0(1) と Windows 2003 Server オペレーティング システムの両方を新しくインストールする必要がありますが、データ移行用の移行パスがあります。Unified Communications Manager とそのコンポーネントをアップグレードした後に、CRS システムをインストールする必要があります。
- Unified Communications Manager のクラスタをアップグレードする場合は、最初のノードを必ず最初にアップグレードする必要があります。最初のノードをアップグレード後にリブートする前に、すべての後続ノードを同時にアップグレードします。これらの後続ノードもリブートしません。

クラスタ内のすべてのノードをアップグレードした後、次の作業を順序どおりに実行します。

1. 最初のノードでリブートして、バージョンを Unified Communications Manager 6.0(1) に切り替え、そのノードが初期化されて完全に機能するようになるまで待ちます。
2. アップグレード ライセンス、および必要な他のライセンスをすべてインストールします。
3. リブートし、バージョンを Unified Communications Manager 6.1(1) に切り替えます。この手順は、まず TFTP および Music-On-Hold (MOH; 保留音) サーバで実行します。
4. TFTP サーバが完全に設定ファイルを構築するまで待ちます。
5. 後続のバックアップおよびコール処理サーバでリブートし、バージョンを Unified Communications Manager 6.0(1) に切り替えて、これらのサーバが完全に初期化されるまで待ちます。
6. クラスタ内の残りのアクティブなコール処理サーバでリブートし、バージョンを Unified Communications Manager 6.0(1) に切り替えて、アップグレードを完了します。



(注) 推奨されるアップグレード手順の詳細については、次の URL で『Cisco Unified Communications SRND based on Cisco Unified Communications Manager 6.x』の「Call Processing」の章を参照してください。  
[www.cisco.com/go/srnd](http://www.cisco.com/go/srnd)

- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のソフトウェアも、Unified Communications Manager に付属のバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。
- Cisco IP Communicator 2.01(x) では、次の機能がサポートされています。
  - SIP 機能
  - Unified IP Phone 8.0(4) 電話機能
- Cisco Emergency Responder クラスタリングを伴う、Cisco Communications Manager と Unified Communications Manager の混合環境では (クラスタが 4.x バージョンおよび 5.x バージョンを実行している)、Cisco Emergency Responder 2.0 をアップグレードする必要があります。
- Cisco Unified MeetingPlace Video Integration は、次のものをサポートしています。
  - Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540 4.x リリース。これは、単一の会議で複数の EMP を使用できるようにするカスケードリング MCU (仮想) 機能を提供しません。
  - Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545 5.x リリース。これは、仮想 MCU 機能を提供します。

仮想 MCU 機能が不要な場合は、ハードウェアおよびソフトウェアを Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545 5.x リリースにアップグレードする必要はありません。



(注) サポートされている MCU ハードウェア プラットフォームおよびバージョンについては、  
[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod\\_system\\_requirements\\_hardware\\_09186a00806ec9bd.html#wp38235](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_system_requirements_hardware_09186a00806ec9bd.html#wp38235) を参照してください。

- ボイスメッセージシステムが Cisco Unity Release 4.2 および TSP 8.1(3) を実行している場合は、次の電話機または電話機の組み合わせがサポートされます。
  - SIP トランク統合の場合: Cisco Unity は Unified Communications Manager 電話システムで SIP 電話機だけをサポートします。
  - SCCP 統合の場合: Cisco Unity は、次の電話機または電話機の組み合わせをサポートします。  
 Unified Communications Manager 電話内線番号に対応した SCCP 電話機のみ。  
 Cisco Unified Communications Manager サーバ上の Media Termination Point (MTP; メディアターミネーションポイント) を使用する、または使用しない、Unified Communications Manager 内線番号に対応した SCCP 電話機および SIP 電話機の両方。

## Customer Response Solutions に関する考慮事項

CRS 5.0 については、次の点に注意してください。

- CRS は、スタンドアロンサーバとして実装されます。
- CRS 5.0 は、CRS 4.5(x) からのアップグレードだけをサポートします。
- CRS Release 3.1、3.5、または 4.0 から CRS 5.0 にアップグレードすることはできません。CRS 5.0 のフレッシュインストールだけがサポートされます。そのため、CRS 5.0 は、CRS Release 3.1、3.5、または 4.0 からの設定、スクリプト、およびエージェント情報のデータ移行はサポートしていません。新しくインストールした CRS 5.0 サーバ上に、既存の設定および CRS スクリプトを手動で再構築する必要があります。

## Cisco Unified IP Phone に関する考慮事項

Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のファームウェアも、Unified Communications Manager に付属のバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。

SIP Unified IP Phone の詳細、および SCCP 電話機と SIP 電話機の機能の違いについては、次のマニュアルを参照してください。

- Cisco 7900 Series IP Phones Maintain and Operate Guides :  
[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_maintenance_guides_list.html)
- Cisco 7900 Series IP Phones End-User Guides :  
[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)
- 『Cisco Unified Communications SRND based on Cisco Unified Communications Manager 6.x』の「IP Telephony Endpoints」の章 :  
[www.cisco.com/go/srnd](http://www.cisco.com/go/srnd)

## 下位互換性の問題

マルチステージシステムアップグレードのシナリオでは、コンポーネント間の下位互換性など、追加の考慮事項があります。

1つのコンポーネントの特定のバージョンに、別のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性があると、それら2つのコンポーネントバージョン間でサービスの機能および動作が保持されます。2つのコンポーネントまたはアプリケーション間の下位互換性が原因で、コンポーネントのアップグレード順序が制限されたり、アップグレード中にサービス停止が発生したりすることがあります。

マルチステージシステムアップグレードまたはマルチサイト移行アップグレードのシナリオのように、2つのコンポーネントが別個のメンテナンス期間中にアップグレードされる場合、2つのメンテナンス期間に挟まれた期間中は、システム全体が部分的にアップグレードされた状態で存在します。

この項で説明するように、メンテナンス期間に挟まれた期間中は、2つのコンポーネント間に下位互換性があるかどうかによって、サービス機能が保持されるかどうかが決まります。2つのコンポーネント間に下位互換性がない場合、2つのメンテナンス期間に挟まれた期間中は、サービス停止が発生します。

アップグレードプロセス中に、下位互換性に関連するいくつかの状況（「[下位互換性のシナリオ](#)」を参照）が発生する可能性があります。詳細については、「[互換性ガイド](#)」に示されているコンポーネント互換性マトリクスを参照してください。

## 下位互換性のシナリオ

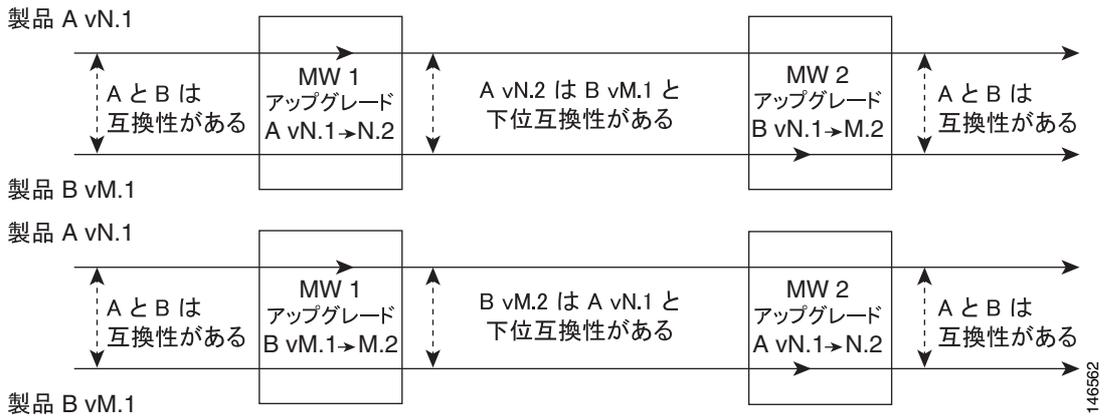
この項では、下位互換性のさまざまなシナリオを示します。

### 両方の新しいバージョンに下位互換性がある場合

2つのコンポーネントのバージョンが、互いに他のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性を持っている場合があります。たとえば、Unified MeetingPlace と Unified Communications Manager などです。この場合、アップグレードの順序は、下位互換性による制限を受けません。どちらのコンポーネントを先にアップグレードしてもよく、どちらのコンポーネントも他方のコンポーネントと相互運用できます。[図 5-1](#) を参照してください。

これらのコンポーネントのアップグレードは、複数のメンテナンス期間にわたって実行できます。このタイプのアップグレードについては、[第4章「システムアップグレードの計画」](#)のマルチステージシステムアップグレード方法およびマルチサイト移行アップグレード方法で説明しています。

図 5-1 両方の新しいリリースバージョンに下位互換性がある場合



片方の新しいバージョンだけに下位互換性がある場合

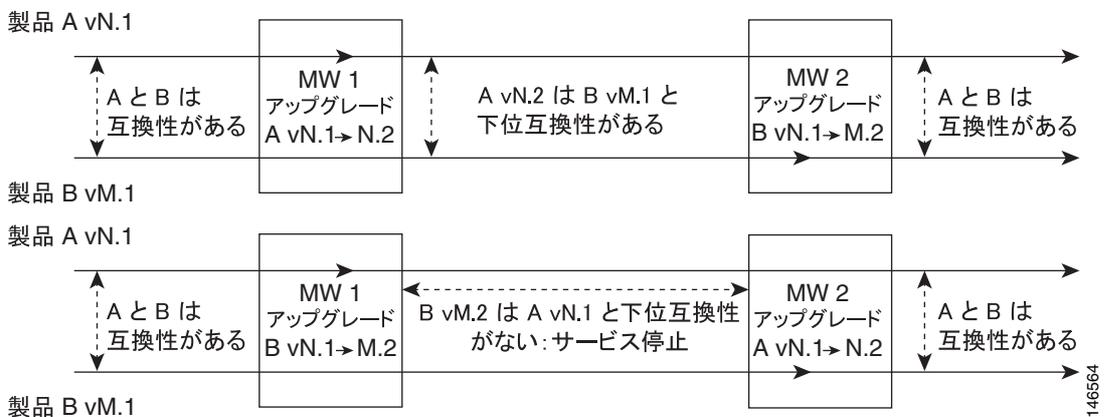
片方の新しいバージョンだけが、他方のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性を持っている場合があります。このモデルに適合するコンポーネントはありません。

この場合は、アップグレード中のサービス停止を避けるため、下位互換性を持つコンポーネントを先にアップグレードする必要があります。図 5-2 を参照してください。

たとえば、Unified MobilityManager 1.1(1) は Unified Communications Manager 6.0(1) をサポートしないため、Unified MobilityManager 1.1(1) から 1.2(3) へのアップグレードは、Cisco Communications Manager 4.1(3) から Unified Communications Manager 6.0(1) へのアップグレード後に実行する必要があります。

これらのコンポーネントのアップグレードは、2 つの別個のメンテナンス期間にわたって実行できます。このタイプのアップグレードについては、第 4 章「システムアップグレードの計画」のマルチステージシステムアップグレード方法およびマルチサイト移行アップグレード方法で説明しています。

図 5-2 片方の新しいリリースバージョンに下位互換性がある場合



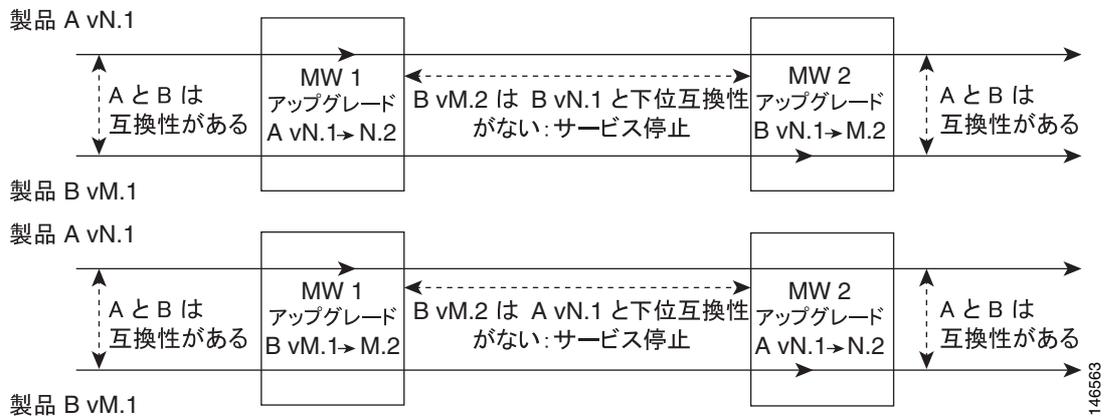
どちらの新しいバージョンにも下位互換性がない場合

どちらの新しいバージョンにも、他方のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性がない場合があります。たとえば、CRS と Unified Communications Manager などです。

この場合は、最初の製品がアップグレードされてから 2 番目のコンポーネントがアップグレードされるまでの間、サービス停止状態になります。図 5-3 を参照してください。

たとえば、CRS 4.0(2) は Unified Communications Manager 6.0(1) をサポートしておらず、CRS 5.0(1) は Cisco Communications Manager 4.x をサポートしていません。どちらのコンポーネントも互いに下位互換性を持たないため、サービス停止を防ぐには、両方のコンポーネントを同じメンテナンス期間中にアップグレードする必要があります。このアップグレードについては、第 4 章「システムアップグレードの計画」の単一ステージアップグレード方法で説明しています。

図 5-3 どちらの新しいリリースバージョンにも下位互換性がない場合



146563

## アップグレードリリースバージョン

この項の各表では、ベースリリースセットおよびターゲットリリースセット内のコンポーネントのリリースバージョンを示し、Unified Communications Manager 6.0(1)に関連する追加の互換性情報およびアップグレードシーケンス情報を提供します。

各表には、次の情報が含まれています。

- カラム1: アップグレードプロセスに関連する IPT コンポーネント。
- カラム2: ベースリリースセット内のコンポーネントのリリースバージョン。
- カラム3: ターゲットリリースセット内のコンポーネントのリリースバージョン。
- カラム4: ベースリリースセット内のコンタクトセンターコンポーネントが、ターゲットリリース内の Unified Communications Manager のバージョンとの互換性を持っているかどうか。
- カラム5: Unified Communications Manager に対するコンタクトセンターコンポーネントのアップグレード順序。「任意」は、Unified Communications Manager のアップグレードの前後どちらでも、そのコンポーネントをアップグレードできることを意味します。

### Release 4.4 と Release 6.0(1) のソフトウェアリリースセット

表 5-1 に、IPC Systems Test Release 4.4 および Cisco Unified Communications Release 6.0(1) の各リリースセット内に存在する IPT コンポーネントのソフトウェアバージョンを示します。

**表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.4 リリースセットおよび Release 6.0(1) リリースセット内の IPT コンポーネント**

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 4.4 リリースセット	Release 6.0(1) リリースセット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	4.2(3)	6.0(1)	あり <sup>1</sup>	—
Cisco Unified Communications Manager—Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.4a SR5	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Customer Response Solutions (Cisco Unified Contact Center Express)	4.0(4) SR1	5.0(1) SR1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後、Unified Communications Manager と同じメンテナンス期間中に CRS のフレッシュインストールを実行
Cisco Customer Response Solutions (IPCC Express) —Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.4a SR5	OS 2003.1.1SR4	—	—
Cisco Emergency Responder	1.3(1a)	2.0(1)	あり	Unified Communications Manager の後
Cisco Unified Presence	未使用	6.0(1)	—	Unified Communications Manager の後

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.4 リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unity、Unity CM-TSP	4.2.1 / 8.1(3)	5.0, 8.1(3)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード  Unified Communications Manager の後に Unity をアップグレード
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2000 SP4 および Microsoft Exchange 2003 SP2	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP3 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストアサーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM / Lotus Domino <sup>2</sup>	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	あり	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Bridge	3.1(1)	未使用 <sup>3</sup>	—	—
Cisco Unity Bridge のオペレーティングシステム	Win2003	未使用	—	—
Cisco Unity Express	2.3(1)	3.0(1)	あり	Unified Communications Manager の後
Cisco Unity Connection	1.2(1)	2.0(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード  Unified Communications Manager の後に Unity をアップグレード
Cisco Unified MeetingPlace Express	1.1(2)	2.0.1	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	5.3	6.0	あり	任意
Cisco Unified Conferencing for TelePresence	未使用	1.1	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	3.3 / IOS 12.4(7b)	4.1/IOS 12.4(15)T、 4.2/IOS 12.4(11)XW21 <sup>4</sup>	あり	任意

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.4 リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)	3.3 / 12.4(7b)	4.1 / IOS 12.4(15)T	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および統合された Enhanced Media Processor (EMP) <sup>2</sup>	MCU 4.1.9 / EMP 3.1.2	未使用	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) <sup>2</sup>	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) <sup>2</sup>	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco 1751 (音声/データ ゲートウェイ)	12.4(7b)	12.4T P16	—	—
Cisco 1760 (音声/データ ゲートウェイ)	12.4(7b)	12.4T P16	—	—
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.0.31	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	未使用	5.1.0.0.24	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(7b)	12.4(15)T1	あり	任意
Cisco 2801、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声/データ ゲートウェイ)	12.4(7b)	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 3660 (音声/データ ゲートウェイ)	12.4(7b)	未使用	—	—
Cisco 3725 (ゲートキーパー)	12.4(7b)	未使用	—	—
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(7b)	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(7b)	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 3725、3745、3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(7b) / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 7206VXR (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(7b)	12.4(15)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC13	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.1(25)SEC2	12.2(25)SEE3	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEE1	12.2(254)SEE3	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データ センター スイッチ)	12.2(25)SEE1	12.2(25)SEE3	あり	任意

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.4 リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA5	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(4) / 12.2(18)SXF4	CatOS 8.5(8) / 12.2(18)SXF8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXF4	12.2(18)SXF8 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module (CMM)	12.4(7b)	12.4(15)T	あり	任意
Cisco Catalyst Firewall Service Module (FWSM)	3.1(3)	3.1.5	あり	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Catalyst Express 500	12.2.25FY	未使用	—	—
Cisco VG224(アナログ音声ゲートウェイ)	12.4(7b)	12.4(15)T	あり	任意
Cisco VG248(アナログ音声ゲートウェイ)	1.3(1) ES8.2	1.3(2)	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	3.2(3)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent—Unified Communications Manager	4.5.1.655 / 2.0(5)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent—Cisco Emergency Responder	4.5.1.655 / 2.0(5)	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent—Cisco Customer Response Solutions	4.5.1.655 / 2.0(5)	5.0.0.216-3.0.4	—	—
Cisco Security Agent—Cisco Unity	4.5.1.639 / 2.0(3)	4.5.1.639-2.0.3	—	—
Cisco Unified Mobility	1.2(1)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Operations Manager	1.1	2.0.1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード段階前またはアップグレード段階中

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.4 リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Service Monitor	1.0	2.0.1 <sup>5</sup>	なし	Unified Communications Manager のアップグレード段階前またはアップグレード段階中
Cisco Unified Provisioning Manager	未使用	1.1 <sup>5</sup>	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Statistic Manager	未使用	1.0	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Resource Management Essentials (RME)	未使用	4.0.5	—	任意
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.4	あり	新規インストール
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3(4)JA	12.3(8)JA	あり	任意
Cisco IP Communicator	2.0(1a)	3.0	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	未使用	1.2(1)	—	Unified Communications Manager および CUPS の後に新規インストール
Security Monitoring、Analysis、および Response System	未使用	未使用	—	—
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.4	—	新規インストール
Cisco Unified Video Advantage	2.0(2)	2.0(2)	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 7.1.0 Engine 4.4.00	Enterprise 8.0.0 パッチ バージョン : 11	—	—

1. マルチサイト分散展開 (H.323 クラスタ間トランクの場合のみ) に適用されます (ICT によってサポートされる機能)。
2. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
3. 「未使用」とは、可用性が欠如している、サポート終了日が過ぎている、そのリリース セットのテスト要件ではないなどのさまざまな理由で、その特定のテスト環境でテストされなかったコンポーネントを示します。
4. Unified Communications Manager Express Release 4.2 および Cisco IOS Release 12.4(11)XW2 は、Unified Contact Center Express Release 5.0(1) との相互運用性のために必要です。
5. 保留中のリリースです。

## Release 5.0(2) と Release 6.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-2 に、Cisco Unified Communications System Release 5.0(2) および Release 6.0(1) の各リリース セット内に存在する IPT コンポーネントのソフトウェア バージョンを示します。

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 5.0(2) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.0(2) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	5.0(4)	6.0(1)	あり <sup>1</sup>	—
Cisco Unified Communications Manager - Cisco IP Telephony Operating System	Unified Communications Manager に付属	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Customer Response Solutions (Cisco Unified Contact Center Express)	4.5(2)	5.0(1) SR1	あり	
Cisco Customer Response Solutions (IPCC Express)、Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.2 SR8	OS 2003.1.1SR4	—	—
Cisco Emergency Responder	1.3(1a)	2.0(1)	あり	Unified Communications Manager の後
Cisco Unified Presence	1.0(1)	6.0(1)	あり	任意
Cisco Unity、Unity CM-TSP	4.2(1) ES9、8.1(2)	5.0、8.1(3)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード  Unified Communications Manager の後に Unity をアップグレード
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2000 SP4 および Microsoft Exchange 2003 SP2	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP3 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストア サーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM / Lotus Domino <sup>2</sup>	6.5 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	—	Unity アップグレードの一部

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 5.0(2) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.0(2) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unity Express	2.2.2	3.0(1)	なし	Unified Communications Manager の後 (関連情報については、P.5-3 の「Cisco Unified Communications Manager のアップグレードと互換性に関する考慮事項」を参照)
Cisco Unity Connection	1.1(1)SR1 ES30 (SIP 統合用)、 1.1(1)SR1 および TSP 8.1.2 (SCCP のみの統合用)	2.0(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード  Unified Communications Manager の後に Unity をアップグレード
Cisco Unified MeetingPlace Express	1.1(2)	2.0.1	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	5.3	6.0	あり	任意
Cisco Unified Conferencing for TelePresence	未使用	1.1	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	3.4(0) / IOS 12.4(6)T	4.1/IOS 12.4(15)T、 4.2/IOS 12.4(11)XW21 <sup>3</sup>	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)	3.4(0) / IOS 12.4(6)T	4.1 / IOS 12.4(15)T	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および Embedded Media Process (EMP) <sup>2</sup>	MCU 4.2.9 / EMP 4.1.8 および 4.2.8.1	未使用 <sup>4</sup>	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) <sup>2</sup>	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) <sup>2</sup>	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco 1760 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(7b)	12.4T P16	—	—
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.2.10	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	未使用	5.1.0.0.24	—	新規インストール

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 5.0(2) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.0(2) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(6)T	12.4(15)T1	あり	任意
Cisco 2801、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(6)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(6)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(6)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 3725、3745、3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(6)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 7206 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(6)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC15	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEC2	12.2(25)SEE3	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	12.2(254)SE1 - 3560	12.2(254)SEE3	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データ センター スイッチ)	12.2(25)SEC2	12.2(25)SEE3	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(20)EWA (3.86)	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(2) / 12.2(18)SXF3	CatOS 8.5(6) / 12.2(18)SXF8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXF3 (ネイティブモード)	12.2(18)SXF8 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module (CMM)	12.4(6)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco Catalyst Firewall Service Module (FWSM)	3.1(3)	3.1(5)	あり	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	あり	任意
Cisco VG224 (アナログ音声ゲートウェイ)	12.4(6)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ)	1.3(1) ES8.2	1.3(2)	あり	任意

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 5.0(2) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.0(2) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent—Unified Communications Manager	4.5.1(652.1)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent—Cisco Emergency Responder	4.5.1-639-2.0.4	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent—Cisco Customer Response Solutions	4.5.1-639-2.0.4	5.0.0.216-3.0.4	—	—
Cisco Security Agent—Cisco Unity Adaptive Security Appliance	4.5.1-639-2.0.3 7.2	4.5.1.639-2.0.3 8.0(2)	— あり	— 任意
Cisco Unified Mobility	1.2(1)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Operations Manager	1.1	2.0.1	あり	任意
Cisco Unified Service Monitor	未使用	2.0.1	あり	任意
Cisco Unified Provisioning Manager	未使用	1.1 <sup>5</sup>	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Statistics Manager	未使用	1.0 <sup>5</sup>	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Resource Management Essentials (RME)	4.0.3	4.05	あり	任意
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.4	あり	新規インストール
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3(8)JA	12.3(8)JA	あり	任意
Cisco IP Communicator	2.0(1a)	3.0	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	1.1(1)	1.2(1)	あり	任意
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.4	—	新規インストール

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 5.0(2) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.0(2) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Video Advantage	2.0(1a)	2.0(2)	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	あり	任意

- マルチサイト分散に適用されます。
- EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
- Unified Communications Manager Express Release 4.2 および Cisco IOS Release 12.4(11)XW2 は、Unified Contact Center Express Release 5.0(1) との相互運用性のために必要です。
- 「未使用」とは、可用性が欠如している、サポート終了日が過ぎている、そのリリース セットのテスト要件ではないなどのさまざまな理由で、その特定のテスト環境でテストされなかったコンポーネントを示します。
- 保留中のリリースです。

## Release 5.1(1) と Release 6.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-3 に、Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 6.0(1) の各リリース セット内に存在する IPT コンポーネントのソフトウェア バージョンを示します。

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	5.1(1)	6.0(1)	あり <sup>1</sup>	—
Cisco Unified Communications Manager、Cisco IP Telephony Operating System	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Customer Response Solutions (Cisco Unified Contact Center Express)	4.5(2) SR1	5.0(1) SR1	あり	Unified Communications Manager の後
Cisco Customer Response Solutions (IPCC Express)、Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.3a SR3	OS 2003.1.1SR4	—	—
Cisco Emergency Responder	1.3(1a)	2.0(1)	あり	Unified Communications Manager の後
Cisco Unified Presence	1.0(3)	6.0(1)	あり	任意
Cisco Unity、Unity CM-TSP	4.2(1) ES27、8.1(2)	5.0、8.1(3)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード  Unified Communications Manager の後に Unity をアップグレード

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2000 SP4 および Microsoft Exchange 2003 SP2	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP3 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストア サーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM / Lotus Domino <sup>2</sup>	6.5 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Express	2.3(3)	3.0(1)	—	—
Cisco Unity Connection	1.2(1) (SIP および SCCP 統合用)	2.0(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード  Unified Communications Manager の後に Unity をアップグレード
Cisco Unified MeetingPlace Express	1.2(1)	2.0.1	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	5.4	6.0	あり	任意
Cisco Unified Conferencing for TelePresence	未使用	1.1	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	4.0(1) / IOS 12.4(9)T	4.1 / IOS 12.4(15)T、 4.2 / IOS 12.4(11)XW21 <sup>3</sup>	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)	4.0(1) / IOS 12.4(9)T	4.1 / IOS 12.4(15)T	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および Enhanced Media Processor (EMP) <sup>2</sup>	MCU 4.2.10 / EMP 4.2.8 および 4.2.8.1	未使用 <sup>4</sup>	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) <sup>2</sup>	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) <sup>2</sup>	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco 1760 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(9)T	12.4T P16	あり	任意

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.2.10	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	5.0.0.0.58	5.1.0.0.24	あり	任意
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(9)T	12.4(15)T1	あり	任意
Cisco 2801、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声/データ ゲートウェイ)	12.4(9)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(9)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声/データ ゲートウェイ)	12.4(9)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 3725、3745、3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(9)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco 7206 (音声/データ ゲートウェイ)	12.4(9)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC15	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEE1	12.2(25)SEE3	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	12.2(25r)SE1 - 3560	12.2(254)SEE3	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データ センター スイッチ)	12.2(25)SEE1	12.2(25)SEE3	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA6	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(5) / 12.2(18)SXF4	CatOS 8.5(8) / 12.2(18)SXF8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXF4 (ネイティブモード)	12.2(18)SXF8 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module (CMM)	12.4(9)T	12.4(15)T	あり	任意
Cisco Catalyst Firewall Service Module (FWSM)	3.1(4)	3.1(5)	あり	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	あり	任意
Cisco VG224 (アナログ音声ゲートウェイ)	12.4(9)T	12.4(15)T	あり	任意

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ)	1.3(1) ES8.2	1.3(2)	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent—Unified Communications Manager	4.5.1.655 / 2.0(5)	Unified Communications Manager にバンドル		
Cisco Security Agent—Cisco Emergency Responder	5.0.0-1.8.7	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent—Cisco Customer Response Solutions	4.5.1.639-2.0.3	5.0.0.205-3.0.4	—	—
Cisco Security Agent—Cisco Unity	4.5.1.639-2.0.3	4.5.1.639-2.0.3	—	—
Adaptive Security Appliance	7.2	8.0(2)	あり	任意
Cisco Unified Mobility	1.2(2)	Unified Communications Manager と統合	—	—
Cisco Unified Operations Manager	2.0(1)	2.0.1	あり	任意
Cisco Unified Service Monitor	1.0	2.0.1	あり	任意
Cisco Unified Provisioning Manager	未使用	1.1 <sup>5</sup>	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Statistics Manager	未使用	1.0 <sup>5</sup>	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Resource Management Essentials (RME)	4.0.3	4.0.5	あり	任意
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3(8)JA2	12.3(8)JA	あり	任意
Cisco IP Communicator	2.0.2	3.0	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	1.1(2)	1.2(1)	あり	任意
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.4	あり	任意

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) リリース セットおよび Release 6.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

Cisco Unified Communications System のコンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 6.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 6.0(1) との互換性の有無	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Video Advantage	2.0(2)	2.0(2)	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 8.0.0 パッチ バージョン : 11	Enterprise 8.0.0 パッチ バージョン : 11	あり	任意

1. マルチサイト分散に適用されます。
2. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
3. Unified Communications Manager Express Release 4.2 および Cisco IOS Release 12.4(11)XW2 は、Unified Contact Center Express Release 5.0(1) との相互運用性のために必要です。
4. 「未使用」とは、可用性が欠如している、サポート終了日が過ぎている、そのリリース セットのテスト要件ではないなどのさまざまな理由で、その特定のテスト環境でテストされなかったコンポーネントを示します。
5. 保留中のリリースです。

■ アップグレードリリースバージョン